

シーニックバイウェイ北海道
十勝シーニックバイウェイ
トカプチ雄大空間
運営活動計画



2010年2月

【2011年3月変更】

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 運営代表者会議

- 1.ルートの概要……………P3
 - ルート名称
 - 十勝シーニックバイウェイ
 - エリアの概要 (2011.3変更)
 - 市町村構成 (2011.3変更)
 - メインルート (2011.3変更)
 - ルートの地域資源・特徴
 - 観光モデルコース

- 2.ルートのテーマ……………P10
 - ルートのテーマ・ルートストーリー
 - ルートの理念

- 3.ルートの運営体制……………P12 (2011.3変更)
 - 運営体制
 - 部会の役割 活動団体リスト

- 4.ルートの活動……………P17
 - 活動方針
 - 活動団体の実績(2011.3変更)
 - 活動実績
 - 中長期計画

- 参考資料……………P26
 - 地域資源マップ(2011.3変更)
 - 活動団体リスト(2011.3変更)



1.ルートの概要

ルートの名称

我々の祖先、先人は北海道の大地に夢をもって入植してきましたが、その土地の名称は、先住民族であるアイヌ民族の言葉を起源としているものが多く、本空間の名称をつけるにあたって「とかち」のアイヌ語読みである「トカプチ」を選択しました。トカプチとは、十勝川および十勝の地方名としてアイヌ民族が使っていた十勝の旧名称です。そのため、本ルートは、大きな恵をもたらす母なる川であり、十勝開拓の歴史の中では道でもあった「十勝川」と、十勝地方の雄大な空間をイメージできるように、先人の歴史を想像できるように、「トカプチ雄大空間」という名称で表しました。

※トカプチのアイヌ語の語源は、「乳房」であり、十勝川河口がかつて二つの乳房のように並んでいたことに由来しています。

ルートの名称:

Tokapuchi 十勝シーニックバイウェイ
トカプチ雄大空間

～自然の恵みと人の営みが織りなす開拓大地～



十勝シーニックバイウェイ ～十勝圏における3ルート連携～

十勝圏においては、平成18年5月に「十勝平野・山麓ルート」と「南十勝夢海道」、平成20年5月に、当ルートがシーニックバイウェイ北海道候補ルートとなり、3つの候補ルートが並立することとなりました。その後、平成21年5月には「十勝平野・山麓ルート」が指定ルートに認定されました。

3つのルートがそれぞれ独自性を保ちながら、連携と協働を進め、全体として十勝ブランドを強力に発信していくために、ルート代表と事務局による3ルート代表連携会議を組織しました。その合意内容がゲートウェイとしての「十勝シーニックバイウェイ」です。

T O K A C H I S C E N I C B Y W E Y

「食」と「癒し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ

「十勝」の魅力向上と発信のための、「食」と「癒し」を基本に個性溢れる3つのルートが連携します。

基本理念

- 1 「十勝」の「食」と「癒し」を基本に連携します。
- 2 訪れる人に「育み」「学び」「気づき」を届ける活動をします。
- 3 魅力ある3つのルートが集結し、世界に通用する十勝ブランドの実現を目指します。

十勝シーニックバイウェイ

特徴ある3つのルートで構成

- 豊かな森・展望・アウトドア
十勝平野・山麓ルート
貴重な動物たちが暮らす豊かな森と、壮大な十勝平野を望む山からの展望は、訪れる人の心を癒します。また、乗馬や釣堀、ラフティングなどのあらゆるアウトドア体験も楽しめるのが魅力。
- 十勝人のルーツ・十勝のスイーツ
トカプ子雄大空間
十勝の先人が人種・市町村の歴史が異なるこのエリアには、十勝川流域や山麓地帯を育む種をポイントが集中。また、各地域にはお土産品をばいり、優れたスイーツの生産も多く、北海道を代表するスイーツが満載のエリアでもあります。
- 自然山脈・太平洋
南十勝夢街道
十勝山脈の山並みと壮大な雄鳥景観、湧き出る日本の純水は、はじめてとした3つの山が、美しい景観をつくりだしています。1年を通じて太平洋の海を堪能でき、また、豊後海峡ではサーフボードの選手練習が行われるなどアウトドアビフォーの場としても楽しめます。

【2011.3 本別町追加】

十勝シーニックバイウェイが目指すもの

- 3つのルートがそれぞれ、ルートの特性と独自性を高める活動を展開します。
- 3つのルートが連携して活動を展開し、十勝ブランドを国内外にアピールします。
- 3つのルートを巡るモデルルートを設定し、交流人口の拡大を目指します。

4

エリアの概要

「トカプチ雄大空間」ルート(以下、「本ルート」という)は道東十勝平野の中心に位置しており、1市6町にまたがっています。軸として開拓の歴史を据え、母なる十勝川の河口から先人は入植し、川を遡る過程で現在の音更町十勝川温泉エリアがあり、川の合流点を拠点として農村エリアへと広がっていく—その周辺エリアの利便性として帯広市の中心市街地エリアにつながっているという「の」の字のストーリーを描いています。また、情報という観点からはその反対の方向で広く外に展開するというイメージを共有しています。

また、広大で平坦な畑作酪農地帯という地域特性から「高規格幹線道路」「高所から地域を鳥瞰する」「先人の開拓の歴史」まで含めた四次元空間の魅力が他にないみどころを提供するエリアです。



■メインルート(ルートを構成する道路)



区域内の主な国道と道道

- 道東自動車道
- 帯広広尾自動車道
- 一般国道38号
- 一般国道236号
- 一般国道241号
- 一般国道242号
- 一般国道336号
- 道道73号帯広浦幌線

ここでは景観・自然・歴史・文化・レクリエーションというシーニックバイウェイ北海道の5つの要素に沿って地域資源特性を述べさせていただきます。

地域資源の分類と特性

景観	空、山脈、丘、田園、川、海、花
自然	自給自足 モール温泉
歴史	開拓 先住民 馬文化
文化	馬文化 先住民 食、地場の食材
レクリエーション	中心街 食、地場の食材 アウトドア

●景観

トカプチ雄大空間というルートの名称が示すように、その特徴の一つは雄大さである。1市6町を合わせた広大な空間の中に、空、山脈、丘、田園、川、海が果てしなく広がる。著名な施設ばかりでなく、人々は田園や庭先を草花で彩り、耕地防風林の景観とも相まって北海道の中にあっても特筆すべき美しい景観を作り出している。

●自然

農と林と漁とは人と自然が直接向き合い、対話しながら育む産業である。その結果として、十勝の食料自給率はカロリーベースでは1,100%に達する。手つかずの自然とは異なる人と自然との協働、人の営みが育んだということによって、十勝の自然は特徴づけられる。世界に2カ所しかないモール温泉でもまた、自然の恵みを人々が守りつつ享受するという関係が形成されている。

●歴史

北海道各地の屯田兵による開拓と異なり、十勝は依田勉三をはじめとする民間の手によって開かれた地域である。自主独立の気風は今も「十勝モンロー主義」という言葉に引き継がれている。先住民であるアイヌの歴史とも合わせて、他に誇りえる地域独自の歴史ということができる。

●文化

北海道の開拓とともにあったばんえい競馬は、今世界に一カ所、帯広にしか存在していない。北海道遺産にも認定され、全国に多くのファンを獲得している。その担い手は市民によって運営されるNPOである。歴史が育んだ文化を市民が守り育てるという気風がここにはある。また、チーズやスイーツ、北の屋台など十勝を代表する食の資源も、多くの市民の手によって支えられている。

●レクリエーション

地域の活性化に取り組む数々の団体の活動によって、トカプチ雄大空間の街々は夏は花や祭りで、冬は雪と氷とイルミネーションで様々に彩られる。中心市街地を含むルートだからこそ味わえる人と人とのふれ合いがルートの大きな魅力である。また、広大な空間を最大限に生かして、多彩な人材が、訪れる人たちに多様な楽しみを提供している。

観光モデルコース

広がりのある本ルートをより効率的に、また、より深く楽しむことができるように、みどころを結ぶ3つのモデルコースを策定しました。散在するポイント同士を景色を楽しみながら訪れることができ、モデルコースごとに設けられた地域ごとのテーマを感じることができます。策定ルートはそれぞれ十勝川温泉を起点とし、最短1日程度の時間を設定しています。今後は、ルート・エリア・テーマ・期間など様々なパターンを検討してゆく予定です。



＜西コース＞食感コース (十勝平野・山麓ルート モデルルートへ)

十勝川温泉 (シーニックカフェ) → 十勝牧場 (展望台) → コーン炒飯 → 新嵐山展望台 → 帯広競馬場 (ばんえい競馬)

北の屋台

＜東コース＞悠久の歴史探索コース

十勝川温泉 (シーニックカフェ) → まきばの家・ボーヤファーム (シーニックカフェ・シープドッグショー) → 十勝太遺跡展望台 → 大津漁港

千代田新水路 → ホープランド (シーニックカフェ)

＜南コース＞文化発信コース (南十勝夢街道 モデルルートへ)

十勝川温泉 (シーニックカフェ) → 真鍋庭園 (シーニックカフェ) → 八千代牧場 (展望台) → 紫竹ガーデン → 帯広百年記念館 (歴史・文化)

北の屋台 ← 帯広競馬場 (ばんえい競馬)

ルートのテーマ：十勝型産業の創出と人口増加

ルートストーリー

●歴史

本ルートは、十勝平野の中核にあり、いまでも訪れる人の絶えない「愛の国から幸福へ」の地を含む十勝圏中部エリアです。自然と共生していたアイヌの文化は、十勝の地名や遺跡などにも多く残っています。一方、開拓は大津より依田勉三ら率いる「晩成社」の入植から始まり、十勝川を遡り帯広市まで至り、そこから農地の開墾へと拡がって行きました。馬文化は、開拓や農耕と深く結びついて地域に根付いてきたものです。

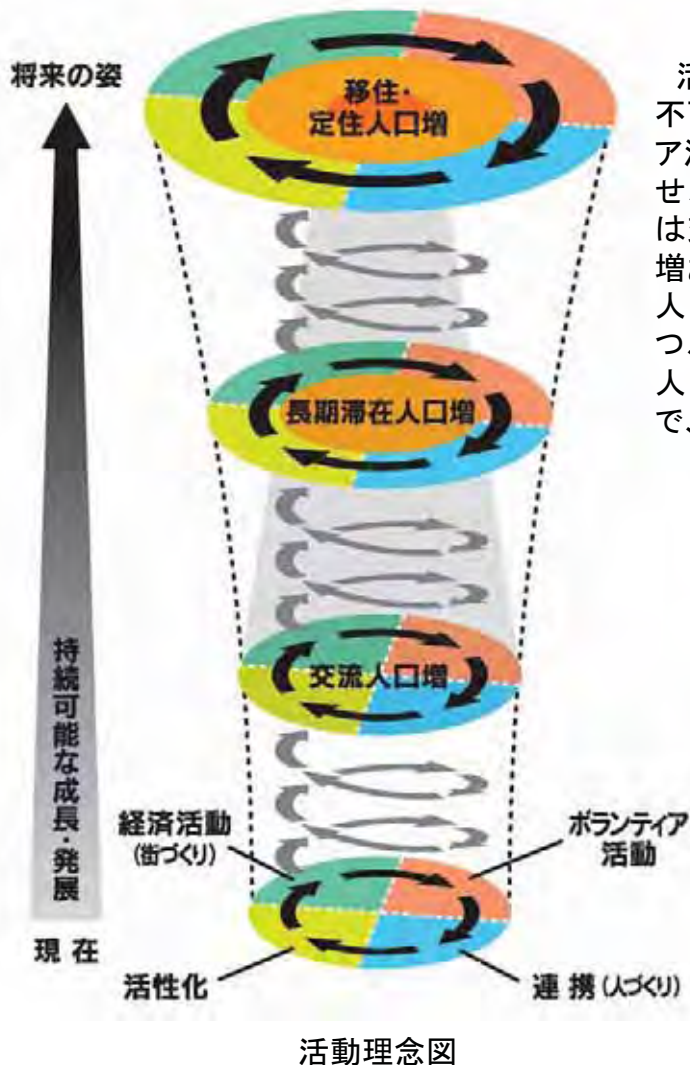
●現在

開拓によってできた広大な農地の風景、大地の恵みから生まれる農産物やスイーツに代表される食文化、帯広市中心部の北の屋台に代表される「人と人とのふれあい」、北海道遺産のモール泉などの自然資源、これらにより、本ルートは訪れる人の心を癒すようなエリアを形成しています。

●将来の姿

この歴史と文化を踏まえた本ルートの活動により、農業など、地域の強みを活かした十勝型産業の創出と、地域の活力の基本である移住・定住人口増に向け、経済活動、ボランティア活動、連携、活性化の4つの活動を循環させていくことで、地域の持続可能な成長発展に繋がります。





活動を持続させていくためには経済活動が不可欠であることから、経済活動、ボランティア活動、連携、活性化の4つの活動を循環させ、螺旋状に持続させていくことで、短期的には交流人口増、中期的にはさらなる交流人口増および長期滞在人口増、長期的には交流人口および長期滞在人口をさらに増加させつつ、十勝型産業の創出と相まって移住・定住人口増につなげ、地域を活性化させていく中で、人づくり・街づくりを行っていきます。

活動8ヶ条

- 活動を通じた街づくり・人づくり
- 持続可能な活動
- 地域がうるおう経済効果
- 活発な情報発信
- 大自然の善循環化を啓発
- 開拓の歴史を活かしたストーリーづくり
- 新たな価値の創造
- 景観の美化・保全

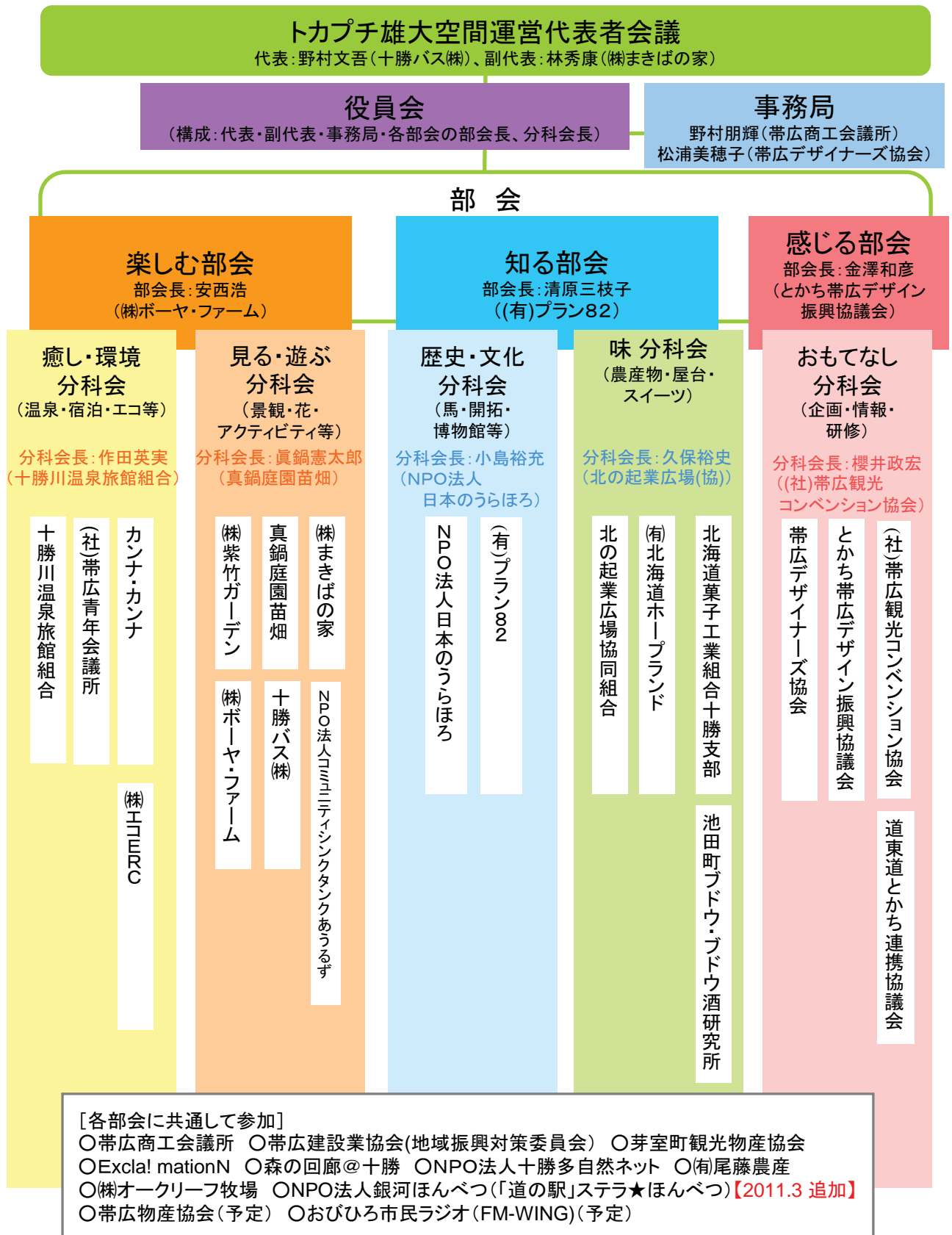


共通基本イメージ「みどり」

「みどり」は色のみどりでもあり、植物のみどりでもあり、食をはじめとしたみどりからの恵みといったみどりであったり、本空間のイメージとしてのみどりであるなど、読み取り方によってはすべて「みどり」に集約され、本空間を一言で表すことばとして共通基本イメージとしました。

3. ルートの運営体制

運営体制



訪れていただいた人の持つ五感をフル活用して本空間を感じてもらいたいという思いを込め「楽しむ」「知る」「感じる」の3つの部会を設けています。前提には、我々自分達が楽しく、知っていて、感じる魅力を本空間から感じ取り、楽しいと思えるものでなければ来られた方々に伝えられないと考えています。

楽しむ部会

癒し・エコ
温泉・宿泊・エコ等

見る・遊ぶ
景観・花・
アクティビティ等

温泉・宿泊・景観・花・アクティビティを中心に、十勝の魅力ある施設の連携を図り、より楽しめるプログラムを構築します。



十勝川温泉十勝が丘でのコンサート



ガーデンアイランド北海道との連携



クリーン・キャンパス21への参加

知る部会

歴史・文化
馬・開拓・
博物館等

味
農産物・屋台・
スイーツ

十勝の開拓や馬文化などの歴史の背景をたどり、現在の大規模農場から育まれた自然の恵みを北の屋台やお菓子などの名産品を通して発信します。



北の屋台との連携、情報発信



馬文化、ばんえい競馬との連携



十勝の開拓の歴史を学ぶ

感じる部会

おもてなし
企画・情報・
研修

各部会との情報の共有や研修会などを通じて、新たなイベントやツアー、キャンペーンなどの企画をはじめ、情報センター設置、情報コンシェルジュの育成を行います。



十勝シーニックバイウエイのHP作成



携帯サイト作成



情報ブースの設置

活動団体リスト(31団体)

本ルート¹の運営代業者会議は、企業、団体、NPO法人など27団体により構成されています。

楽しむ部会

癒し・エコ分科会

十勝川温泉旅館組合

●シーニックカフェ



(社)帯広青年会議所

●環境エコ活動、美化運動



(株)エコERC

●環境エコ活動、YRP



カンナ・カンナ

●環境エコ活動



見る・遊ぶ分科会

真鍋庭園苗畑

●シーニックカフェ、GIH



(株)まきばの家

●シーニックカフェ・デッキ、コラボ活動



十勝バス(株)

●シーニック定期観光バス



(株)ポーヤ・ファーム

●コラボ活動シーブドックショー



NPO法人コミュニティシクタンクあうるず

●ロングトレイル



紫竹ガーデン

●GIH(ガーデンアイランドとかち)



知る部会

歴史・文化分科会

(有)プラン82

●イエローリボン・プロジェクト(YRP)



NPO法人日本のうらほろ

●情報発信



池田町ブドウ・ブドウ酒研究所

●情報発信



味分科会

北海道菓子工業組合十勝支部

●情報発信「食文化」



農業生産法人(有)北海道ホーブランド

●シーニックカフェ



北の起業広場協同組合

●情報発信「食文化」



感じる部会

おもてなし分科会

帯広観光コンベンション協会

●情報発信



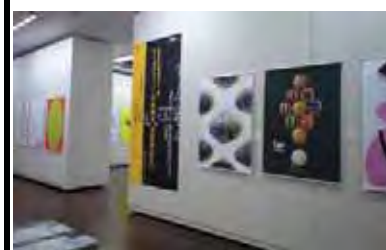
とちかち帯広デザイン振興協議会

●情報発信



帯広デザイナーズ協会

●情報発信、YRP



道東道とちかち連携協議会

●情報発信



各部会に共通して参加

帯広商工会議所

●情報発信



帯広建設業協会

●美化活動、ロングトレイル



芽室町観光物産協会

●情報発信「食文化」



森の回廊@十勝

●森造り、景観整備



NPO法人十勝多自然ネット

●河川美化活動



ExclamationN(エクスクラメーション)

●情報発信



㈱オークリーフ牧場

●情報発信「食文化」



(有)尾藤農産

●情報発信「食文化」



帯広物産協会

●情報発信



おびひろ市民ラジオ (FM-WING)

●情報発信



NPO法人銀河ほんべつ

(道の駅 ステラ★ほんべつ)

●情報発信



【2011.3 追加】

4.ルートの活動 活動方針

本ルートの活動は、●観光 ●地域づくり ●景観 ●環境 の4つの項目を基本として活動しています。各分野ごとに活動方針を設定し、長期ビジョンで活動に取り組んでいます。また、各分野が連携し合い、活動を行っていきます。

活動方針は以下の通りです。



●観光

陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスウィーツについて学び、ライフコンシェルジュ※1の育成と女性プロジェクト※2を実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れます。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行います。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていきます。

※1 ライフコンシェルジュ:訪れた人に十勝の生活を伝えるアドバイザー

※2 女性プロジェクト:女性を中心としたビジネスモデルとなる活動



●地域づくり

道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行います。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進します。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指します。



●景観

五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進めます。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出します。



●環境

エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指します。



本ルートでは、各活動団体が様々な分野で連携して活動に取り組んでいます。これまでの活動団体の実績を表にまとめました。

モデルルート	団体名	活動内容	景観・自然資源	文化・歴史資源	レクリエーション資源	バス・モデルルート	花・清掃	食・スイーツ	環境(エコ)	連携・情報発信	癒し
悠久の歴史訪問	十勝川温泉旅館組合	シーニックカフェ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(株)まきばの家	シーニックカフェ・デッキ、コラボ活動	○		○	○	○	○		○	○
	(株)ボーヤ・ファーム	コラボ活動 シーブドックショー			○	○		○		○	○
	NPO法人日本のうらほろ	情報発信	○	○		○				○	
	(株)エコERC	環境エコ活動、YRP					○		○	○	
食感	北の起業広場協同組合	情報発信「食文化」	○	○	○	○		○	○	○	
	芽室町観光物産協会	情報発信「食文化」						○		○	
	(株)オークリーフ牧場	情報発信「食文化」		○				○		○	
	(有)尾藤農産	情報発信「食文化」		○				○		○	
	農業生産法人(有)北海道ホーブランド	シーニックカフェ			○	○		○		○	
	北海道菓子工業組合十勝支部	情報発信「食文化」						○		○	
文化発信	紫竹ガーデン	GIH	○		○	○	○	○		○	○
	真鍋庭園苗畑	シーニックカフェ、GIH	○		○	○	○	○		○	○
	(株)プラン82	イェローリボン・プロジェクト(YRP)		○	○	○	○		○	○	
	ExclamationN(エクスクラメーション)	情報発信		○						○	
連携	十勝バス(株)	シーニック定期観光バス	○		○	○		○	○	○	
	帯広商工会議所	情報発信								○	
	帯広デザイナーズ協会	情報発信、YRP					○		○	○	
	とちか帯広デザイン振興協議会	情報発信							○	○	
	帯広建設業協会	美化活動、ロングトレイル			○		○			○	○
	NPO法人十勝多自然ネット	河川美化活動					○			○	
	(社)帯広観光コンベンション協会	情報発信						○		○	
	(社)帯広青年会議所	環境エコ活動、美化運動					○		○	○	
	カンナ・カンナ	環境エコ活動							○	○	
	道東道とちか連携協議会	情報発信								○	
	NPO法人コミュニケーションあうるず	ロングトレイル	○	○	○					○	○
	森の回廊@十勝	森造り、景観整備	○	○	○					○	○
	NPO法人銀河ほんべつ「道の駅」ステラ★ほんべつ	情報発信								○	

【2011.3追加】

活動実績

H18年から始まった、本ルートのこれまでの活動をまとめます。
また、特に力を入れた活動について次ページから詳細を示します。

1	H18		H19									
	11月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
会議		推進会議 発足								準備会議	準備会	
活動										シーニックカフェ(十勝が丘展望台)試行		
		[コラボ活動]十勝川温泉活性化事業										
			[コラボ活動]シーブドッグショー									
		支笏洞爺 ニセコル ト視察									南十勝夢 街道視察	
3ルート連携						候補ルート認定						

H20	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
会議	準備会	運営医代 表者会議		運営代表 者会議	運営代表 者会議		運営代表 者会議		運営代表 者会議		運営代表 者会議	
活動							花火大会2			クリーン キャンパス21		
								PR活動				
									シーニックカフェ(十勝が丘展望台開催)			
									情報ブース設置			
									[コラボ活動]十勝川温泉活性化事業・シーブドッグショー			
				研修会								
3ルート連携							連携代表 者会議		連携代表 者会議	連携代表 者会議		連携代表 者会議
												連携フォーラム トカフチ・山麓 ルート視察

H21	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
会議	運営代表 者会議		運営代表 者会議	3部会 会議		運営代表 者会議				運営代表 者会議・3 部会会議			
活動			雪まつり							クリーン キャンパス21			
		PR活動							PR活動(YOSAKOI、花火大会、ばん馬祭りなど10回)				
									シーニックカフェ ※十勝が丘展望台以外は8月から (十勝が丘展望台、真鍋庭園、まきばの家、ホープランド)				
											研修会	研修会	
											シーニックパブ		
										シーニック定期観光バス運行			
3ルート連携	連携代表 者会議		連携代表 者会議		連携代表 者会議		連携代表 者会議						
										イエローリボンプロジェクト			
							連携 フォーラム		ケータイ持って行く DO	連携研修 トカフチ・南 十勝視察			
									シーニックカフェ スタンプラリー				

プロモーション活動

本ルートでは、花火大会、雪まつり、道東道キャンペーンなど、十勝圏内から遠くは羽田空港の様々な場面で合計15回のプロモーション活動を行ってきました。PRは、環境問題を考え、チラシ配布等ではなくQRコードから本ルートのサイトへアクセスしてもらう方法や、クイズ形式でルートに関する情報を発信する方法など、楽しんでもらう工夫をしました。

- H20年度: 勝毎花火大会、道新花火大会(帯広)
さっぽろ雪まつり(札幌) 計3回
- H21年度: YOSAKOIソーラン祭り(札幌)、
勝毎花火大会、道新花火大会(帯広)、
とかち大好きフェスティバル(帯広)、
とかちばん馬祭り(帯広×2)、
道東道キャンペーン
(帯広×3、札幌、羽田空港)
おびひろ氷まつり(帯広)
さっぽろ雪まつり(札幌) 計12回



とかちイエローリボンプロジェクト[3ルート連携事業]

とかちイエローリボンプロジェクトは、帯広競馬場など十勝管内の有休地の資源作物(菜の花・ひまわり)栽培による景観創出および循環型社会の構築を目指すプロジェクトです。

十勝シーニックバイウェイでは同プロジェクトと連携し、ルート内の遊休地や施設敷地にヒマワリを植えて十勝街道を黄色でつなぐ活動を行いました。

今後の目標としては、十勝シーニックバイウェイルートを黄色い資源作物で彩り、新たな景観創出と種を回収できるシステムを構築し、地域で取り組める循環型システムを構築したいと思っています。

- 期間: H21. 6月～10月



情報発信ブース

本ルートでは、ルートの立ち上げ当初から情報発信の重要性を認識しており、連携の最大は情報の共有と考えていました。MLの活用、携帯サイトやHPの立ち上げのほかに、各施設が自分の所以外のメンバーの情報を発信する事により連携と、来客へのトカプチトータルとしての情報サービスを心掛けることとしました。一つの施設の魅力よりも地域としての魅力を発揮する上でも有効な手段と考えています。

そこで、活動団体の各施設に、ルート内の活動団体のメンバーのパンフレットが置ける情報発信ブースを設置しました。

H22. 2月現在の設置箇所は7箇所、随時拡大しています。今後、全てのメンバー施設への設置を推進します。



クリーンキャンパス21

私たちの住む「とかち」をきれいな住み良い地域となるようにめざしている市民活動「クリーン・キャンパス・21」に、「シーニックバイウェイ・トカプチ雄大空間」として参加しています。

この活動に参加することで、「どのような方法があって、何が求められているのか」、「地域の方々の意識が変わってきたのか」等、先行する活動から経験や知識を学び、我々の団体が起こすべきアクションについて考えることができます。

今後もこの美化活動には継続的に参加し、違ったニーズの美化活動を我々独自でも提案できるか検討してゆきたいと考えています。

- H20. 10月実施
- H21. 10月実施



研修会

活動団体の活動内容の相互理解と今後、トカプチ雄大空間における連携を考えるきっかけづくりや、ルート内の魅力再発見を目的とした有識者を招いての勉強会等、様々な研修会を開催しています。また、研修会の中で各団体の活動内容の発表も行い、お互いの活動の理解を深めています。

十勝シーニックバイウェイとしても、3ルート合同の研修会を開催し、カーボンオフセットやエコドライブに関する勉強会を実施しました。

- 活動団体連携合宿〔H20.4月〕
- 3ルート連携研修・視察会〔H21.10月〕
（エコドライブ・カーボンオフセット研修）
- 歴史・スイーツ研修会〔H21.10月〕
- おもてなし研修会〔H21.11月〕



コラボ活動

本ルートの活動は、十勝川温泉のホテル間のコラボ活動「十勝川温泉活性化事業」とまきばの家とボーヤ・ファーム間のコラボ活動「シープドッグショー」の2つを連携させたことから始まりました。

コラボ活動同士をシーニックでつなぎ、複合的に連携することで、シーニック定期観光バスなど新たな取り組みを行なうことができました。

●十勝川温泉活性化事業

十勝川温泉では、各ホテルが連携して、夢ポタル鑑賞会、オータムフェスタin十勝川、彩凜華など一年を通して様々なイベントを開催しています。

●シープドッグショー

池田町内のカフェ・レストラン・コテージを運営する“まきばの家”と羊牧場“ボーヤ・ファーム”では、お互いの敷地が隣接していることを生かし、コラボ活動としてシープドッグショーを開催しています。



シーニックカフェ

H19年に試行し、H20年からスタートしたシーニックカフェ十勝が丘展望台では、コンサートも開催し、大変好評を頂いております。H21年11月に、新たにウッドデッキが完成し、いままで以上の来場者が期待できます。

また、H21年には、新たに3箇所の活動団体の施設がシーニックカフェとして加わり、ルート内のシーニックカフェは4箇所となりました。

さらに、シーニックカフェのサインを作成し、各カフェに設置しました。

- 十勝が丘展望台〔H20. 5月～〕
- まきばの家 風とひつじの丘〔H21.5月～〕
- ブルー・スプルス(真鍋庭園内)〔H21.5月～〕
- 北海道ホープランド 幕別いちご園〔H21.5月～〕



十勝シーニックカフェ スタンプラリー [3ルート連携事業]

H21年8月～9月に、十勝シーニックバイウェイのシーニックカフェを巡るスタンプラリーを開催しました。2ヶ月間という短い期間でしたが、3箇所のスタンプを集めると各カフェ自慢の商品をその場でプレゼントという手軽に楽しめるスタンプラリーであったため、多くの方に楽しんでいただきました。

スタンプラリーの実施により、今までカフェがあることを知らなかった方々に、カフェの開催情報およびシーニックバイウェイについて知っていただくことができ、非常に有意義なイベントとなりました。

今後は、シーニックカフェだけでなく、ルート内の活動団体の施設を巡る周遊チケット制度と連動させたスタンプラリーなど、趣向を凝らした集客策を実施したいと考えています。



中長期計画(1)

分野	主な取り組み	担当部会	基本方針	活動の方向性	本年計画と実行	2～3年後	4～6年後	7～9年後
観光	情報	知る部会	各拠点と来訪者同士の連携と 双方コミュニケーション	十勝の歴史を知る (十勝人の気質・アイヌ文化) 十勝のお菓子の歴史を知る	●短期ビジョン ・観光による交流人口の増加 ・ビジネスモデルの構築 ①シーニックカフカの発掘・自主財源運営 ②シーニックツアーの販売(事業の経路効果) ③HPIによる紹介チャージ制度の実施	●中期ビジョン ・体験移住による交流人口の増加 ①子ども向けの農山漁村体験 ②おとな・ファミリー向けの週末農村体験	●長期ビジョン ・移住、起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農林水産業)の構築 ②十勝型第3次(観光サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工産業の構築 ④十勝型新(健康分野)産業の開発	4年後 H25年 5年後 H26年 6年後 H27年 7年後 H28年 8年後 H29年 9年後 H30年
	発信	感じる部会	新しいメディアを活用した 情報の受発信	十勝の情報を カテゴリー別・ジャンル別に 発信する	体験を交えた勉強会 冬の事業の活性化 女性プロジェクト ビジネスモデル	道との連携・増加 ライフコンシェルジュの育成	十勝の魅力を世界に発信する 国内では小学校の副読本にする	
	商品	楽しむ部会	魅力あるルートの発信 来場者の増加 経済活動の向上 参加団体のメリット向上	新しい資源の発掘に力を入れ 有機的に結ぶルート内の連携	ストーリー性や演出を再考する 体験観光(シーニック畑)の企画	新商品の創出 祭りづくり	十勝観光客数が日本で有数となり Web2双方での情報交換を 充実させる	
	振興	楽しむ部会	参加団体のメリット向上 SBWのお客様への メリット向上	プロモーション活動等の連携	現地調査・モデルルート設定 運営 商品(グッズ)開発 体験観光(シーニック畑)の企画	情報発信および3ルート連携強化	四光ルートの完成 陸・水・空時	
	振興	感じる部会	癒し・健康(食・がん・タリ・医療) の提供	活動情報を収集し連携 平原SAとの連携	活動情報を収集し連携 平原SAとの連携	連携プロモーション活動を 強化・派生させる	十勝のプロモーション活動が一体化さ れる	
	方向性	事務局		10年後からのビジョン策定	ビジョンの見直し	ビジョン達成のために課題を抽出する	総括後に次の10年ビジョンを策定する	
	情報交換	事務局		自由な情報の交換	情報交換の活発化	参加者をシーニック以外に広げる	十勝ではシーニックが情報交換の中心	
	連携	事務局		情報のクオリティを高め合う 十勝川温泉のイベントとの連携 十勝川温泉観光地協会	シーニックの理解の共有 行政間、組織間との 協力的連携	シーニックへの支援体制を 充実してもらう	シーニックが街づくりのツールとなる	
	連携	知る部会 感じる部会		地域間競争に打ち勝つための 情報共有や連携強化による 入づくり・街づくり	十勝シーニックバイクウェイ の連携と地域に輪を 拡げる	各種ジャンルにおいてのリーダーを 育成し、そのリーダー達の連携を 強化する	北海道・日本・アジアに対して 観光・食・アクティビティ・環境などの PR活動・受入支援の確立と情報を 発信・人的に交流する	
	スキル アップ	お遊さまサービス	感じる部会	ホスピタリティ高いエリアの創造	地域住民、市民との 連携・協力	日本有数のサービスレベルを達成する	サービス業における新たな職を創造する	
活性化	観光・商業振興	感じる部会	組織・団体の活性化を図る	あらかゆる連携での研修会を開催 コーディネート後の充実 地元住居へ十勝の 良さを周知	事業者同士が連携して 新たな観光を創造	サービス業就業人口が増加する		

中長期計画(2)

分野	主な取り組み	担当 部会	基本方針	活動の方向性	本年 計画と実行	2～3年後	4～6年後	7～9年後					
景 観	探す 調査	感じる部会	五感と感動で楽しむ 場所の提供	美しい景観の発掘と整備 雄大な景色のテック整備 豊かな時間を過ごすカフェの 整備 3ルートへの連携(知る楽しみ)	発掘活動とその 情報整理 フォトコンテスト実施に 向けての写真募集 設定・設置・整備計画の 実施 設置 トカプチスタンプラリー (周遊チケット制度) シーニックカフェ・スタンプラリー システム設計・整備	●短期ビジョン ・観光による交流人口の増加 ・ビジネスモデルの構築 ①シーニックカフェの発展・自主財源運営 ②シーニックツアーの発展(事業者の経済効果) ③HPIによる紹介チャージ制度の実施 2年後 H22年 3年後 H24年 4年後 H25年 5年後 H26年 6年後 H27年	●中期ビジョン ・体験移住による交流人口の増加 ①子ども向けの嵐山漁村体験 ②おとな・ファミリー向けの週末農村体験 4年後 H25年 5年後 H26年 6年後 H27年	●長期ビジョン ・移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発 7年後 H28年 8年後 H29年 9年後 H30年					
	見渡す 見下ろす	楽しむ部会							美しい景観の発掘と整備	発掘活動とその 情報整理	発掘した、調査した、その情報を 整理して活動内容を検討する	体験移住による交流人口の増加 ①子ども向けの嵐山漁村体験 ②おとな・ファミリー向けの週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							雄大な景色のテック整備	フォトコンテスト実施に 向けての写真募集	冬の景観のための整備 誘導看板に代わる植樹活動の研究 (生きている看板)	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							豊かな時間を過ごすカフェの 整備	雄大な景色のテック整備	設定・設置・整備計画の 実施	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							五感と感動で楽しむ 場所の提供	美しい景観の発掘と整備	発掘活動とその 情報整理	体験移住による交流人口の増加 ①子ども向けの嵐山漁村体験 ②おとな・ファミリー向けの週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							五感と感動で楽しむ 場所の提供	雄大な景色のテック整備	設定・設置・整備計画の 実施	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							五感と感動で楽しむ 場所の提供	豊かな時間を過ごすカフェの 整備	設定・設置・整備計画の 実施	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							五感と感動で楽しむ 場所の提供	雄大な景色のテック整備	設定・設置・整備計画の 実施	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							五感と感動で楽しむ 場所の提供	豊かな時間を過ごすカフェの 整備	設定・設置・整備計画の 実施	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
	戻る	楽しむ部会							五感と感動で楽しむ 場所の提供	雄大な景色のテック整備	設定・設置・整備計画の 実施	子ども向けの嵐山漁村体験 週末農村体験	移住・起業および企業誘致による人口の増加 ①十勝型第1次(農業・林業)産業の構築 ②十勝型第3次(観光・サービス)産業の構築 ③農作物の第2次加工・産業の構築 ④十勝型新健康分野産業の開発
環 境	飲食	楽しむ部会	環境モデル都市・エリア 美観のための連携強化	エコに関する啓蒙の推進 ゴミの削減による環境美化 カーボンオフセットの推進による 環境の改善	JCの事業との連携 紙媒体のIT化を進める カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	グローバルマップ上での公開と連携 オリジナル商品・メニュー等の開発 流通・交通と連携したITポイント化の研究 双方でのホームページ更新を進め 環境美化の啓蒙活動を進める 環境美化運動としてのゴミ箱設置	スタンプラリーシステム作り強化・拡大 ITポイント化したカード事業の実施 観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	スタンプラリーを全道規模に拡大 地域通貨の流通で地域への還元増大 ゼロエミッションの街づくりの達成					
	啓蒙	楽しむ部会							エコに関する啓蒙の推進	JCの事業との連携	グローバルマップ上での公開と連携 オリジナル商品・メニュー等の開発	スタンプラリーシステム作り強化・拡大	スタンプラリーを全道規模に拡大
	美化	感じる部会							ゴミの削減による環境美化	紙媒体のIT化を進める	流通・交通と連携したITポイント化の研究 双方でのホームページ更新を進め 環境美化の啓蒙活動を進める	ITポイント化したカード事業の実施	地域通貨の流通で地域への還元増大
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
	美化	楽しむ部会							カーボンオフセットの推進による 環境の改善	カーボンオフセットに資する 事業を行っている組織との 情報交換・信頼関係醸成	環境を意識した各組織が連携して カーボンオフセット活動を実践する	観光客まで巻き込んだ 環境美化運動の実践	ゼロエミッションの街づくりの達成
環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境						

参考資料

- 地域資源マップ
- 活動団体リスト



西コース 食感コース (運行時間約2時間30分)	
十勝川温泉	23km 約50分
十勝牧場	31km 約60分
コウホ	12km 約30分
新金山展望台	24km 約50分
南広瀬農場	25km 約50分
北の展望台	25km 約50分
11km 約30分	
東コース 悠久の歴史探索コース (運行時間約2時間50分)	
十勝川温泉	17km 約40分
まなほの家	33km 約80分
十勝大展望台	12km 約30分
十勝	40km 約90分
ホーランド	10km 約20分
千代田新水鏡	10km 約20分
4km 約10分	
南コース 文化発信コース (運行時間約2時間30分)	
十勝川温泉	14km 約30分
真珠	31km 約80分
八千代牧場	18km 約40分
新竹カーブ	20km 約50分
有馬百年記念館	3km 約10分
北の展望台	2km 約10分
11km 約30分	
2km 約10分	

北海道産

次世代で、いつでも新鮮な北海道産食材を、
 北海道産の食文化を、
 北海道産の食文化を、

● 北海道産 産地別加工品
 ● 北海道産 産地別加工品
 ● 北海道産 産地別加工品

北海道産 産地別加工品

十勝川温泉旅館組合



左上/展望台から市街地を望む 右上/新設されたデッキから市街地を望む 左下/フットパスから展望台到着、右下/シーニック最終日の音楽演奏(エコロジーパークにて)

	団体名・属性	団体名	団体種別
		十勝川温泉旅館組合	
団体概要	概要	十勝川温泉シーニックカフェ	
	活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝および十勝川温泉地域の活性化 ・十勝および十勝川温泉(モール温泉)の知名度向上 	
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝が丘展望台(シーニックカフェ)におけるコーヒー、お茶等サービスの提供 ・十勝および十勝川温泉関係情報の提供(十勝川温泉ガイド) ・地域の美化およびフットパス等により温泉街並びにエコロジーパークと連携 	
	活動エリア	十勝・北海道	
	組織構成	組合長: 笹井清志	
	所在地	音更町十勝川温泉北 15 丁目 1 番地	
	連絡先	電話: 0155-46-2447 FAX: 0155-46-2533	
	ホームページ		
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/癒し、環境部会	
	活動内容	十勝が丘展望台(ビューポイントパーキング)において、シーニックカフェを実施して、他団体(地域)と連携	
	将来の展望	十勝川温泉観光協会と連携し、活動を充実させる	

社団法人 帯広青年会議所



写真タイトル

団体名・属性	団体名	団体種別
		社団法人 帯広青年会議所
概要	民間と行政のアダプトプログラム。まち一体の環境美化清掃啓蒙の活動	
活動エリア	帯広市内10エリア	
組織構成	帯広市内各企業、各団体、帯広市役所	
所在地	帯広市西5条南7丁目1番地	
連絡先	0155-65-4135	
ホームページ	http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shiminkankyoubu/kankyoka/a160101seisout	
部会・分科会	エリアリーダーで組織される実行委員会が運営	
活動目標	日本一きれいなまち「とかち」を実現する為の市民運動と環境に対する意識の向上	
活動内容	それぞれのエリアでの清掃啓蒙活動と年2回の全体清掃及び推進会議の実施が中心。帯広市が清掃用具、保険、ゴミ回収等のバックアップ、市民はエリアに責任をもった活動と啓蒙を実施する(里親制度)	
シーニックバイウェイとの関わり	通常活動での人員交流。推進会議での環境、観光の観点からみた意見交換と連携推進	
将来の展望	08年度に十勝毎日新聞社主催の十勝環境特別賞を受賞。急速な認知度向上を活かし他団体との連携を深め、とかち全域に環境美化の啓蒙を広げると共に、環境と観光のつなぎ役としての役割を強固なものにする。	

株式会社エコERC豊頃工場 なたね館・BDF館



ポディーにシーニックの宣伝を入れた定期観光バス／A4チラシ

団体名・属性	団体名	団体種別
概要	株式会社エコERC	企業
活動エリア	十勝：管内19ヶ市町村・北海道内全域	
組織構成	代表取締役社長 寺嶋 誠一	
所在地	本社：帯広市東2条南29丁目 豊頃工場：中川郡豊頃町茂岩	
連絡先	本社：0155-49-6611 豊頃工場：015-579-5511	
ホームページ	http://www.ecoerc.com/	
部会・分科会	楽しむ部会/癒し・環境	
活動目標	十勝の基幹産業と連携し新たな農産物の普及拡大を図ると共に、油糧作物育成過程、菜の花・向日葵の開花景観を新たな観光資源と位置づけ、農業者の意識改革を図り観光資源型異業種連携モデルを目指し地域の石杖となる事により持続可能な農業地域を創る事で当社が発展するビジネスモデルを創造する。	
活動内容	豊頃工場を核とし、畑地や遊休農地に”なたね””ひまわり”等の油糧作物の栽培面積を拡大する事により各地道路沿線に広がる菜の花畑・ひまわり畑等の景観を観光資源とし、さらに道内初の食用油製造工場において地域の農業生産原料で希薄な国産食用油を製造販売し新たな特産品として地域の発展に寄与する。	
シーニックバイウェイとの関わり	バイオディーゼルの工場、食用油の工場は十勝発祥の歴史にラップさせています。新たな時代の幕開け、エネルギー・食料、これら開拓の歴史に重ねる事でストーリーを描き、道路沿線を遡上し十勝が今後発展する。その景観・情景・光景を資源とし道路網を活用して更なる発展を目指す処がシーニックとマッチングし地域活動として連携させて頂く処です。	
将来の展望	エコERCは <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー(BDF)の生産と普及(EcoEnergy) ・地域内循環を通じた持続可能な地域づくり(EcoRegion) ・循環ビジネスの確立(EcoCorporation) 是等の実現に向け取り組んでいます。これらを実現する事が地域を持続可能な社会になると信じています。	

(地域資源を活用した環境体験観光)



右上：木育(もくいく)体験 右下：マイ箸づくり体験 左上：植樹活動 左下：割り箸回収活動

団体名・属性	団体名		団体種別
		自然にいいこと、再出発。カンナ・カンナ	
概要	環境 NGO		
活動エリア	主に十勝、北海道内		
組織構成	代表者：三浦潤一		
所在地	帯広市以平町西 3 線 8 番地 6		
連絡先	TEL/FAX : 0155-64-5754		
ホームページ	http://www7.plala.or.jp/kannakanna/index.html		
部会・分科会			
活動目標	観光から環境を考えるきっかけを創造し、みどり豊かな地域づくりを活動の目標とします。		
活動内容	生活に身近な使用済み割り箸の回収活動を行い、森林資源の地域内源循環の実施と普及啓発を行います。		
シーニックバイウェイとの関わり	観光と環境をつなぐ「かけはし」		
将来の展望	観光拠点で、地域資源を活用した参加型の(エコな)体験を提供し、環境体験観光を実施し定着させる。		

真鍋庭園



左上:真鍋庭園エントランス
左下:西洋庭園空撮

中央上:日本庭園
中央下:西洋庭園秋

右上:カフェ・ブルー・スプーン
右下:風景式庭園 8mの滝

	団体名・属性	団体名	団体種別
			真鍋庭園苗畑
団体概要	概要	観光庭園・カフェ・樹木生産販売・林業	
	活動目標	緑や自然に関する社会貢献・独創性・種の保存・伝統技術の伝承など	
	活動内容	日本初のコニファー・ガーデン（針葉樹庭園）。日本一の面積が広い個人庭園の中には、北欧・北米などから輸入された植物が何千品種もあり、生産・育種・販売を生業としている。ガーデンセンターとカフェテラスを併設。林業もしている。	
	活動エリア	帯広:観光庭園公開・カフェ・樹木生産 十勝:林業 全国:樹木販売	
	組織構成	[代表者] 真鍋 憲太郎	
	所在地	[住所] 帯広市稲田町東2線6番地	
	連絡先	[電話] 0155-48-2120 [FAX] 0155-48-2169 [Mail] mobile@manabegarden.jp	
	ホームページ	[HP] http://www.manabegarden.jp	
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ	
	活動内容	・シーニックカフェへの登録 ・十勝産間伐材箸の使用 ・シーニック観光バスへの参加 ・情報発信ブース設置による参加団体連携PR ・GIHとかち連携の花マップ作成 ・GIHとかち連携の亜麻植栽と苗の配布 ・イエローリボンプロジェクト連携のひまわり植栽 ・周辺国道や市道のボランティア清掃と芝刈 ・十勝管内の山林保全と運営 ・生産緑地の運営 ・防風林苗や山林苗の生産 ・公園や街路の緑化樹生産	
	将来の展望	参加団体同志の連携によって、意識の向上や地域の観光的魅力の底上げがなされ、「観光発展途上である十勝」が、「北海道観光といえば十勝」と、なるようにしたい。また、互いに他施設や途中景観を自慢できるようになり、寄り道せざるを得なく、滞在時間が足りないと言われる地域にしてゆきたい。最終目標は、とがちが住みたい地域全国 No.1になる事。	

(株)まきばの家



	団体名・属性	団体名	団体種別
		(株)まきばの家	
団体概要	概要	カフェデッキ・レストラン・コテージ・キャンプ場	
	活動目標	一度だめになった観光資源の復活を目指します	
	活動内容	北海道の雄大な景観にマッチした、ひつじのテーマパークや羊肉を使った料理の提供	
	活動エリア	池田町	
	組織構成	代表者 林 秀康	
	所在地	中川郡池田町清見 144	
	連絡先	TEL015-572-6000 FAX015-572-4081	
	ホームページ	http://www.makibanoie.com	
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ	
	活動内容	自然の中に在るシーニックカフェやシーニックデッキを整備して、癒しの空間を提供しています。清見ヶ丘展望台をシーニックの仲間と町で整備して、ビューポイントにする取り組みをはじめています。	
	将来の展望	道を通じていろんな人達が池田町に来て、ゆっくりと自然や羊とふれ合い、心と体が癒される施設を目指します。又、池田町と言えばワインと羊の町と言われる、地域づくりを目指します。	

十勝バス株式会社



ポディーにシーニックの宣伝を入れた定期観光バス / A4チラシ

	団体名・属性	団体名	団体種別
		十勝バス株式会社	
団体概要	概要	路線バス事業・貸切バス事業	
	活動目標	十勝の観光振興の一助となるために、帯広圏内の観光地・名所をバスでつなぎ、情報の発信する。また、来勝者の足としての二次交通を担う。	
	活動内容	帯広圏内の観光地・名所にお客さまをご案内するとともに、ガイドによる十勝の風土他を伝えている。平成 20 年度からシーニック参加施設を中心にコース設定をし、平成 21 年度にはトカプチ雄大空間のキャッチフレーズ「スイーツ」を新たに取り入れたコースを設定して運行している。	
	活動エリア	十勝：路線バス事業・北海道：貸切バス事業	
	組織構成	代表取締役社長 野村文吾	
	所在地	帯広市西23条北1丁目1番1号	
	連絡先	0155-37-6500	
	ホームページ	http://www.tokachibus.jp/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	代表	
	活動内容	シーニックハイウェイとしての連携を率先して促し、自ら送客することにより持続可能な経済活動を実践している。また、「道」と同様にバスによっても施設と施設を結べると考え、既存の目的地をシーニックの参加施設に切替えて運行している。結果、ここ2年とも前年実績を上回り交流人口の増加に貢献している。	
	将来の展望	施設同士の信頼関係をより醸成させお客さまを紹介し合うことにより、連携先やコース設定を増やしていきながら情報発信を続け、交流人口の増加はもちろんのこと、管外、道外からの来訪者を増加させる。また、これで得られる経済効果を基礎に、送客による新たな価値を創造しビジネスモデルを築く。	

株式会社 ボーヤ・ファーム



団体名・属性	団体名		団体種別
		株式会社 ボーヤ・ファーム	
概要	綿羊牧場(羊肉、羊毛、羊皮の生産牧場)		
活動目標	*日本最大の生産牧場にし、地域密着型の観光を構築するため景観や体験を重視し活動を行う。 *地元はもちろん、全国各地に安全で美味しい羊肉を提供すること。		
活動内容	隣接する施設「まきばの家」と協力し羊肉の提供、牧羊犬ショーを行い、また景観を大切にして環境整備を行い集客に力を入れる。		
活動エリア	池田町		
組織構成	代表取締役 安西 浩		
所在地	中川郡池田町字清見224-1		
連絡先	電話 015-572-2127、090-3898-5598 FAX 015-572-4600		
ホームページ	http://www.netbeet.ne.jp/~boya		
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ分科会	
	活動内容	地域の施設との連携を強化し情報交換等すること。各施設へのルート作り、ルート間の景観作りを行い、新たな観光資源を発掘すること。	
	将来の展望	日本はもちろん、海外のお客様にも十勝のあらゆる資源の素晴らしさを提供し、他では経験のできないような魅力的なものにしていくことで長期滞在型の観光、移住を促進する。	

NPO 法人コミュニティシンクタンクあうるず



団体名・属性	団体名		団体種別
		NPO 法人コミュニティシンクタンクあうるず	
概要	地域活動に必要な人材が集結し、さらに各活動が横断的な連携を保ち、地域の問題解決を実現する		
活動目標	地域の問題に対応するための地域づくりのハブ機能として、地域の課題を提言、実行する団体として活動する		
活動内容	①地域施策と住民ニーズの整合を図るための調査研究事業 ②まちづくりに係わる調査、研究 ③地域の課題解決のために貢献する運動体形成事業 など		
活動エリア	北海道内		
組織構成	代表理事 梅津一孝／理事 11名、会員28名 合計39名		
所在地	帯広市東2条南4丁目10番地		
連絡先	0155-67-6305		
ホームページ	http://www.netbeet.ne.jp/~owls/		
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／見る・遊ぶ分科会	
	活動内容	ロングトレイルは各地域拠点の魅力を高め、滞在時間を延ばし観光・交流人口を増やすためのツールとしての連携を深める。各拠点間の連携の強化。	
	将来の展望	これまでの旅行スタイルに新たな魅力を付加させることで交流人口が増え、地域の魅力を広範に広める(伝える)ことができる。シーニックパイウェイの魅力を高め、長期滞在による地域経済効果にもつながる。	

(有)紫竹ガーデン遊華



団体概要	団体名・属性	団 体 名	団体種別
		(有)紫竹ガーデン遊華	企業
	概 要	観光庭園・レストラン・花苗販売	
	活動目標	十勝における花文化の振興	
	活動内容	植物を主とした観光庭園・庭園内レストラン・苗販売	
	活動エリア	帯広市	
	組織構成	代表者 紫竹 昭葉	
	所在地	北海道帯広市美栄町西4線107号	
	連絡先	TEL0155-60-2377 FAX0155-60-2378	
ホームページ	http://www4.ocn.ne.jp/~shichiku/		
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／見る・遊ぶ分科会	
	活動内容	当園へと続く道に沢山の花の種を播いて花で一杯の道作りに取り組んでおります	
	将来の展望	当ルートの道沿いを花で一杯の道にして最終的には「北海道といえどこまでも花に囲まれた道」と言われるように活動していきたい。	

(有)プラン 82



	団体名・属性	団体名	団体種別
		(有)プラン82	企業
団体概要	概要	デザイン事務所・地域活性化のためのグッズ製作	
	活動目標	馬が担う多面的機能の実証(馬と健康の相関など)、普及に関する事業をすすめ、馬と人のふれ合い、福祉の普及増進、馬資源を活用した街づくり、経済活動の活性化を目指します。	
	活動内容	観光、地域振興のために馬関連グッズの開発製作・協力。障がい者乗馬の普及活動、ばん馬のストレス度などの調査、馬文化の継承、啓蒙のための活動	
	活動エリア	十勝管内&北海道内	
	組織構成	代表取締役 清原 三枝子	
	所在地	帯広市西 10 条南 15 丁目3-1	
	連絡先	Tel 0155-22-8282 Fax 0155-22-3382	
シーニックとの関わり	ホームページ		
	部会・分科会	知る部会/歴史・文化	
	活動内容	北海道遺産であるばんえい競馬をシンボルとした馬文化や十勝の開拓の歴史の情報発信と十勝のルート内の遊休地や施設敷地に(資源作物の菜の花やひまわりを植えて、十勝街道を黄色でつなぐイエローリボン・プロジェクト)の推進。	
将来の展望	ばん馬が畑を耕し、その糞尿を肥料とし、そこで栽培される黄色の資源作物で十勝シーニックバイウエイルートを彩り、新たな景観創出とその種子を回収し3ルートが連携して、循環型システムづくりをすすめたい。 「ばんえい十勝」を通じて参加団体と連携し、馬文化を継承、地域づくりに「十勝らしさ」を創りだしたい。		

NPO法人 日本のうらほろ



	団体名・属性	団体名	団体種別
		特定非営利活動法人 日本のうらほろ	NPO法人
団体概要	概要	まちづくりに係る活動	
	活動目標	地域活性化に寄与する	
	活動内容	まちづくりフォーラムの開催、地域の魅力を再認識する活動、地場産の食材を使用した創作料理、町の次代を担う子供たちの活動	
	活動エリア	浦幌町	
	組織構成	代表者 近江 正隆	
	所在地	浦幌町桜町3	
	連絡先	電話:015-576-3000	
	ホームページ	http://urahoro.com/	
	シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会/歴史・文化
活動内容		地域づくりという観点による連携	
将来の展望		従来を取り組みを継続させた上で、地域の活性化につながる活動を充実、展開させていく。	

池田ワイン城



	団体名・属性	団体名	団体種別
		池田町ブドウ・ブドウ酒研究所	
団体概要	概要	ブドウ栽培からワインの醸造と販売を中心とした地域のワイナリーを経営	
	活動目標	寒冷地のブドウ栽培を確立し、ワインなどの地域産物の安定生産を図る	
	活動内容	耐寒性ブドウ新品種の開発、ワイン等酒類製造販売、観光施設としての運営	
	活動エリア	池田町字清見でのワイナリー観光、全国への酒類販売	
	組織構成	池田町役場 ブドウ・ブドウ酒研究所（公営企業）	
	所在地	〒083-0002 中川郡池田町字清見 83-3	
	連絡先	所長 中 林 司 Tel 015-572-2467 Fax 015-572-3915	
	ホームページ	http://www.tokachi-wine.com	
	シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会・味分科会
活動内容		野生の山ブドウから独自のブドウを開発してワインを醸造している。熟成の楽しみがあるワインやブランデーは、農作物の毎年の出来を味として後年に伝えることができる。ブドウ畑やワイナリーからの見晴らしの良さと共に、地域の恵みを熟成する施設として観光地整備をすすめている。	
将来の展望		ワインは世界の多くの地域で長い歴史を持つ伝統的な嗜好品であり、ワインツアーやワインツーリズムなど観光地めぐりが派生している。十勝の自然が育む地域食材と共に十勝ワインが育てられることで、日常の食生活や地域の文化がより豊かなものとなる。	

北海道菓子工業組合十勝支部



十勝産原材料を使ったお菓子の家づくり!

菓子王国 十勝

スタンプラリー2009

家族で作る! 「お菓子の家」

3500名以上参加予定!
「お菓子の家」組立会に
参加出来ます!!

300名以上参加
千歳コンパニオン
クイズ
プレゼント!

2009
4/24(土)6/26(日)

あなただけの「お菓子の家」を作ろう!!
さらに「お菓子の家」写真コンテストで豪華商品プレゼント!!

お菓子の家コンテストは、お菓子の家の写真コンテストです。お菓子の家の写真を撮影し、お菓子の家の魅力を伝えるためのコンテストです。

お菓子の家コンテストのルールは、お菓子の家の写真を撮影し、お菓子の家の魅力を伝えるためのコンテストです。

お菓子の家コンテストの賞品は、お菓子の家の魅力を伝えるためのコンテストです。

お菓子の家コンテストの応募方法は、お菓子の家の魅力を伝えるためのコンテストです。



左:笑顔でお菓子の家作り 中央:十勝外からも参加者が多いスタンプラリー 右:お菓子の実演催事

団体名・属性	団体名	団体種別
概要	北海道菓子工業組合十勝支部 お菓子の国 十勝のPR	
活動エリア	帯広 十勝	
組織構成	菓子製造小売店 40社で構成	
所在地	音更町下音更北9線西18-2 柳月内	
連絡先	0155-32-3333 (柳月 社長田村)	
ホームページ	http://www.marchen-sweetland-tokachi.com/	
部会/分科会		
活動目標	お菓子を食べに十勝へ行こう。帯広、十勝はお菓子の原料の主産地 (砂糖、小麦、小豆、生クリーム、牛乳、バター、チーズ、卵、イチゴ) 空気と水がおいしい国のPR	
活動内容	十勝菓子店40店舗スタンプラリー、家族で作るお菓子の家、 地元デパートでの「お菓子の実演販売」催事	
シーニックバイウェイとの関わり	十勝のお菓子の魅力で全道、全国から多くの人を呼び シーニックバイウェイを見てもらいたい	
将来の展望	お菓子を通じて地域活性化。 お菓子を見て食べて作ることで、十勝の魅力をアップさせていきたい。 お菓子の国十勝を全国に広めていきたい。	

シーニックカフェ 幕別いちご園



上/まくべついちご園 右下/放牧養豚 左下/農業体験(10月の風景)

団体名・属性	団体名		団体種別
		(有)北海道ホープランド	
概要	農業、放牧養豚、観光農園、カフェ、農業体験、ファームイン		
活動エリア	幕別町		
組織構成	代表者:妹尾 英美		
所在地	幕別町相川143		
連絡先	tel:0155-54-5477 fax:0155-54-5432 e-mail:info@hopeland.jp		
ホームページ	http://www.hopeland.jp		
部会・分科会	知る部会		
活動目標	イチゴ園とカフェをコラボしてカフェを実施してきたが、今後は農業とのコラボによって、さらに魅力あるものとしていきたい。		
活動内容	トカプチ雄大空間に参加することによって、カフェを開設し、活動団体の連携によって、情報発信を行ってお互いに送客を行ってきた。		
シーニックバイウェイとの関わり	シーニックカフェ開設により、参加活動団体との連携が密になり、それぞれが送客を促す事によって交流人口を増やしたい。		
将来の展望	今後さらに、情報発信をして交流人口を増やして経済発展して行きたい。現在のカフェをレストランにしていきたい。		

北の屋台(北の起業広場協同組合)



	団体名・属性	団体名	団体種別
			北の起業広場協同組合
団体概要	概要	飲食店街	
	活動目標	帯広の中心街の顔づくりと、地域の情報発信できるコミュニティを目指す。	
	活動内容	地産地消を目的とし、消費者と生産者を結び食材イベントなどを通じて地域の豊かさを表現する。	
	活動エリア	帯広市	
	組織構成	専務理事:久保 裕史	
	所在地	北海道帯広市西2条南10丁目7	
	連絡先	TEL/0155-23-8194 FAX/0155-23-8193	
	ホームページ	http://www.kitanoyatai.com	
シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会・味分科会	
	活動内容	地域情報を店主に告知し、お客様に対しての情報発信基地とするため、年に一度はバスを仕立て、シーニックのメンバーや景観の良さを認識するための活動。	
	将来の展望	常に地域情報が集積できる場所を目指し、店主とともに人・物・十勝の景観を発信し続ける場所とする。	

社団法人帯広観光コンベンション協会



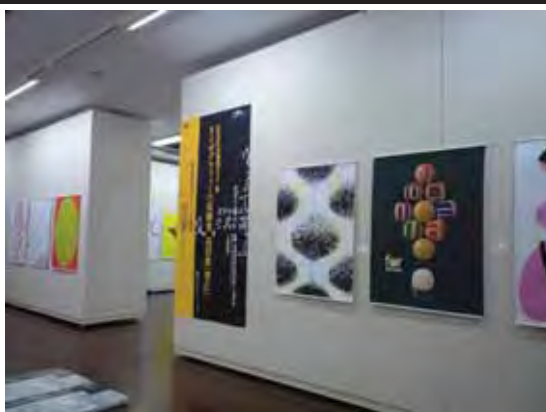
	団体名・属性	団体名	団体種別
		社団法人帯広観光コンベンション協会	
団体概要	概要	とちかち観光情報センター	
	活動目標	帯広市及び十勝の観光宣伝及びコンベンションの誘致・支援など観光関連産業の振興を図るとともに、地域経済の発展に寄与する。	
	活動内容	帯広・十勝への観光客およびコンベンションの誘致促進など	
	活動エリア	帯広及び十勝	
	組織構成	会員約 390 会員	
	所在地	帯広市西2条南12丁目	
	連絡先	0155-22-8600	
	ホームページ	http://www.obikan.jp	
シーニックとの関わり	部会・分科会	感じる部会/おもてなし分科会長	
	活動内容	トカプチ雄大空間との事業の連携をはかり、情報の提供を行う。	
	将来の展望	情報の共有及び事業実施を分担するとともに、一体となった事業展開を図る。	

とちぎ帯広デザイン振興協議会



	団体名・属性	団体名	団体種別
		とちぎ帯広デザイン振興協議会	
団体概要	概要	デザイン業界団体	
	活動目標	地域でのデザイン普及と振興	
	活動内容	デザインに関する展示・セミナー・研究・各種地域プロジェクトへの参加	
	活動エリア	帯広市・十勝管内	
	組織構成	会長 金澤 和彦 会員:52名	
	所在地	帯広市	
	連絡先	事務局:帯広市商工観光部 工業労政課内 〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地	
	ホームページ	http://tokachidesign.jp/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	感じる部会／おもてなし分科会	
	活動内容	各種ハードおよびソフト類のデザインや企画・コーディネート、研究・セミナーの開催	
	将来の展望	地域づくりなど社会のすべての分野にデザインの視点・手法を活かす	

帯広デザイナーズ協会



おびひろ氷まつり／アートマーケット・アイスグラス作り 作品展・JAGDAポスター展



おびひろ平原まつり／大道芸パンフレット製作

新年会

団体名・属性	団体名	
		帯広デザイナーズ協会
概要	地元のデザイナーによる組織	
活動エリア	十勝管内	
組織構成	会長: 松浦美穂子 会員数: 24名	
所在地	事務局: 帯広市大通南16丁目2番地2 片所第1ビル2階 ティワイネット(株)内	
連絡先	電話: 0155-67-5571 FAX: 0155-67-5582	
ホームページ	http://www.odadesign.net/	
部会／分科会	感じる部会/おもてなし	
活動目標	北海道、十勝・帯広におけるデザイン活動を推進し、その進展をはかると共に、デザインのもつ文化的視野から、創造性を深め、厳しい風土の中に、美しい豊かな生活環境を築き上げることを目的とする。	
活動内容	1.デザインに関する啓蒙及び普及。(エキシビジョン、シンポジウム、セミナー、その他) 2.デザインに関する調査・研究。(機関紙の発行・資料の整備及び出版) 3.デザインに関する国内及び海外との交流。 4.会員各分野の情報交換及び親睦相互扶助に関する活動。 5.その他、本会の目的達成に必要な事業。	
シーニックバイウェイとの関わり	●トカプチ雄大空間のロゴマーク製作 ●「携帯持って行くDO！」キャンペーン印刷物製作 ●その他十勝シーニックバイウェイに係るビジュアル製作の手伝い	
将来の展望	デザインの「地産地消」をはかり、地元デザイナーによる地元の「元気、魅力、思いやり」を最大限発信するお手伝いをいたします。	

道東道とかけ連携協議会



写真左： 一般公募によるロゴ・キャッチフレーズの発表記事

写真右： 札幌のオースタムフェストにて、十勝のPRステージ

	団体名・属性	団体名	団体種別
		道東道とかけ連携協議会	
団体概要	概要	十勝の高速道全通まで、事前の準備・対応策を検討・実施する連携団体	
	活動目標	十勝の高速道早期完成・利用促進に加え、観光・物産・交流人口の拡大・向上	
	活動内容	十勝の観光・物産関連団体と道路管理者による連携で「オールとかけ」を創造	
	活動エリア	十勝を中心に全道・全国へ	
	組織構成	会長 野村文吾	
	所在地	帯広市西2条南12丁目 帯広駅エスタ東館2F	
	連絡先	0155-22-8600（帯広観光コンベンション協会 担当裏南）	
	ホームページ	なし	
	シーニックとの関わり	部会・分科会	感じる部会・おもてなし分科会
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路に関連する様々な催事に、場所や時間を提供。または共同開催。とかけの観光や物産について、連携し共にアピールに努めている。 ・十勝平原 PA にトカプチ情報発信ブースを設置。利用者へサービスを提供 	
将来の展望		民間の有志団体である我々だからこそ起こせるアクションとして、時には協同し、時には分担し、連携を深め共に「とかけ」を内外へ広くアピールしてゆきたい。	

帯広商工会議所・情報発信活動



右上: 観光ガイド養成 左上: ホコテン 右下: 平原のルキア 左下: 情報発信

団体名・属性	団体名	団体種別
		帯広商工会議所
概要	地域内の商工業者で組織する経済団体。地域内の商工業者の総合的な改善発展と兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的に活動する。	
活動エリア	十勝 帯広市	
組織構成	[代表者] 高橋 勝坦	
所在地	帯広市西3条南9丁目1番地	
連絡先	[電話]0155-25-7121 [FAX]0155-25-2940	
ホームページ	http://www.occ.or.jp	
部会・分科会	各部会に共通して参加	
活動目標	シーニックバイウェイの活動の情報発信と連携の要としてその調整能力を発揮して、トカプチ雄大空間の活動がスムーズに活発になされることを目標とする。	
活動内容	十勝の地域づくりにおけるハブ機能を保有しながら、地域戦略、施策に関する提言を行い実行する。	
シーニックバイウェイとの関わり	トカプチ雄大空間に参加のそれぞれの活動団体並びに地域の関係者との調整を図って、地域力を増幅させる役割に徹する。	
将来の展望	トカプチ雄大空間の活動と連携の要として、それぞれの活動団体並びに地域の関係者との調整を図り、地域振興に結びつく推進力になりたい。	

帯広建設業協会(地域振興対策委員会)



東十勝ロングトレール「森のルート」モニターツアー実施 平成21年10月24日

団体名・属性	団体名		団体種別
		東十勝ロングトレール活動協議会	
概要	東十勝の地域資源をロングトレールの手法を活用しネットワーク化する		
活動エリア	豊頃・浦幌を含む東十勝一帯		
組織構成	東十勝ロングトレール活動協議会／会長 萩原一利		
所在地	〒080-0017 帯広市西7条南6丁目2番地		
連絡先	TEL0155-24-5309 FAX0155-22-5284		
ホームページ	http://www.obi-ken.ne.jp/		
部会／分科会	共通部会		
活動目標	道を舞台に徒歩という最も人間らしい移動手段で自然を体験する事によって交流人口を増やし、改めて地域の良さを再認識する事で地域の活性化を図る。		
活動内容	本年10月に初のモニターツアーを実施した。今後はさらに実験、検討を加えていきたい。		
シーニックバイウエイとの関わり	人間の目線で風景、風土を感じ、それをメンバーの活動団体の活動を連携する事によって地域の新たな魅力づくりに貢献していきたい。		
将来の展望	地域で活動する多くの団体との連携により十勝らしさを見つけ充実させたい。		

芽室町観光物産協会



左上:氷灯夜会場／左下グルメバスツアー／右上オータムフェスト2009に参加して／右下花菖蒲

団体名・属性	団体名	団体種別
	芽室町観光物産協会	団体
概要	観光産業の振興	
活動エリア	芽室町 十勝管内 北海道内	
組織構成	代表者 鈴木 健充	
所在地	芽室町東2条2丁目14 芽室町役場産業振興課商工観光係内	
連絡先	TEL:0155-62-9725 FAX:0155-62-4138	
ホームページ	s-kankou@memuro.net	
部会・分科会	共通部会	
活動目標	魅力的な観光情報を発信することにより、芽室町の観光の発展に資するとともに、豊富な地域資源を生かした当協会開催イベント、各種事業とシーニックバイウエイ地域連携を通して交流人口の拡大を目指し、地域産業・観光・物産品の振興を図ることを、目標とする。	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・氷灯夜・イリスフェスタ等イベントの開催。 ・芽室町内グルメとビュースポットバスツアーの開催。 ・「芽室遺産」関連事業の開催、後援。 	
シーニックバイウエイとの関わり	「トカプチ雄大空間」のネットワークを、それぞれの地域が共有する事が、地域振興に繋がる。芽室町観光物産協会は、さまざまな活動と連携したい。	
将来の展望	バスツアーを、シーニックバイウエイ参加施設と連携して拡大したい。芽室遺産の一つ「新嵐山展望台」の宣伝充実に協力していきたい。今後、シーニックデッキにする事を検討する。	

森の回廊@十勝



	団体名・属性	団体名	団体種別
		森の回廊@十勝	
団体概要	概要	森づくり活動	
	活動目標	みんなが楽しめる気持ちのいい森づくり	
	活動内容	育樹・植樹や間伐、間伐材の活用、散策路や遊び場づくり、観察会やワークショップなどの市民向け体験学習、河畔林づくり	
	活動エリア	帯広の森、ウツベツ川河畔など	
	組織構成	代表 デビット・キャンベル 会員:15名	
	所在地		
	連絡先	事務局 磯野照弘 電話・FAX:0155-48-8078 Email: QZM02373@nifty.ne.jp	
	ホームページ		
シニクとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／癒し・環境分科会	
	活動内容	帯広の森をテーマにした自然体験や観察会などを通じ、地域の自然風土と人間の関わりを学んでもらう。	
	将来の展望	様々な団体や市民、また観光客などの地域外の人々と連携を強め、より日常的・継続的な森との関わり方を追求し実践してゆく。	

NPO 法人 十勝多自然ネット



	団体名・属性	団体名	団体種別
			NPO 法人 十勝多自然ネット
団体概要	概要		
	活動目標	水辺環境における人と自然との調和についての調査研究、環境教育ならびに啓発に関する事業等を行うことにより、現在危機的な状況にある自然環境を維持保全するとともに、我々の子孫に豊かな自然環境を遺すことを目的とし、もって社会全体の利益の増進に寄与することを設立の趣旨とする。	
	活動内容	1. 河川によりよい自然環境を取り戻すための事業 2. 環境に配慮した地域づくりを実現するための事業 3. 子ども達が親しめる水辺づくりを実現するための事業 4. 環境に対する啓蒙を行う事業 5. 良好な環境を保全・創造するための地域づくりに関する普及啓発事業 6. 良好な環境を保全・創造するための地域づくりに関する調査研究事業 7. 公共団体が行う環境に配慮した地域づくりに対する協力	
	活動エリア	十勝管内他	
	組織構成	理事長 西江 靖幸	
	所在地	十勝多自然ネット事務局（帯広市東6条南7丁目20）	
	連絡先	Tel & Fax 0155-22-7511(帯広)	
	ホームページ	http://homepage2.nifty.com/near-nature-net/index.htm	
	シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／見る・遊ぶ
活動内容		さまざまな活動との連携	
将来の展望		公共事業を中心とした河川工事の施工を通して、生態系への配慮を行うことにより、この十勝により良い自然環境を創造すること。	

Excla!mation



写真タイトル

団体名・属性	団体名		団体種別
		Excla!mation	
概要	YOSAKOIで得る知識や経験、パワーを源に、地元十勝のお祭りや文化活動に積極的に取り組む活動をしている。		
活動エリア	北海道(札幌市ほか)、十勝管内		
組織構成	代表 黒田 勝史		
所在地	帯広市愛国町東1-31		
連絡先	tel&fax 0155-64-4103		
ホームページ	http://www.ekula.com/		
部会・分科会	共通部会		
活動目標	北海道を代表する踊りのまつり「YOSAKOIソーランまつり」に参加することチームを通じて、街づくりに貢献する人づくりをしていく事によって、地域振興に貢献する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、YOSAKOIソーランまつりに参加(特別賞を1度受賞) ・市民ミュージカル「obiカル」を企画実施 		
シーニックバイウェイとの関わり	街づくり・人づくりの点で共通する。連携によって十勝を情報発信している。H21年の「YOSAKOIソーランまつり」ステージで十勝シーニックバイウェイをPR。		
将来の展望	十勝らしさの創造と街づくり・人づくりによる地域貢献		

(株)オークリーフ牧場



	団体名・属性	団体名	団体種別
			(株)オークリーフ牧場
団体概要	概要	ノンGM、ノン抗生物質飼料での肉牛生産、販売	
	活動目標	みんなに安心して食べてもらえる健全な食品を生産すること	
	活動内容	抗生物質フリー飼料への取り組み、その飼料で飼育生産した牛肉、ハーブ卵の販売。それら生産される牛肉を地元レンガ倉庫レストランで提供。	
	活動エリア	芽室町(販売に関しては日本全国)	
	組織構成	代表取締役 柏葉 晴良	
	所在地	芽室町北平和	
	連絡先	電話 0155-62-3472	
	ホームページ	http://www.oakleaf.jp/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	共通部会	
	活動内容	十勝食文化はシーニックバイウェイで繋がる。つなげることで十勝への交流人口の増大となりえる。	
	将来の展望	シーニックバイウェイと連携し、十勝食文化構築や魅力ある観光資源を作る。	

有限会社 尾藤農産



	団体名・属性	団体名	団体種別
		有限会社 尾藤農産	
団体概要	概要	農産物生産、販売(約100Ha 小麦、じゃがいも、大豆、ビート、ながいも他)	
	活動目標	美味しい農産物生産、販売。シーニックバイウェイと連携して生活者との距離短縮	
	活動内容	地元農産物を美味しく見せる場、「地域遺産レンガ倉庫レストラン」運営	
	活動エリア	十勝 芽室町	
	組織構成	代表取締役 尾藤 光一	
	所在地	芽室町祥栄西18線15番地1-9	
	連絡先	電話 0155-62-8340	
	ホームページ	http://www.bitou-nousan.com/ http://www.y-kagura.jp/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	共通部会	
	活動内容	シーニックとの連携を深め、交流人口増大を目指し「安全安心の食」を伝える	
	将来の展望	昭和初期建造の農協倉庫、レンガ倉庫の保存を価値周知。まちなかへの人の移入拡大。	

道の駅 ステラ★ほんべつ(NPO 法人 銀河ほんべつ)



	団体名・属性	団体名	団体種別
		NPO 法人 銀河ほんべつ	
団体概要	概要	道の駅	
	活動目標	まちづくりの推進を図る活動・経済活動の活性化を図る活動	
	活動内容	旧本別駅の再活用により、中心市街地における都市機能の充実と賑わい性の回復を一体的に進め、旧本別駅が地域住民と来街者に対しての利便性や地域振興・観光の拠点としての役割と、本別町の特産品及び農産物の販売事業により商工業、農業、観光事業の発展及びまちづくりの振興に寄与することを目的としている。	
	活動エリア	本別町	
	組織構成	理事長 河合 篤史	
	所在地	中川郡本別町北3丁目1番地	
	連絡先	TEL/0156-22-5819 FAX/0156-28-0808	
	ホームページ	http://www.hokkaido-michinoeki.jp/data/107/each.htm 道の駅	
シーニックとの関わり	部会・分科会	各部会共通	
	活動内容	ルートの活動を活発化させるために、周辺地域や道の駅来場者に向けて情報発信していく。	
	将来の展望	魅力ある観光資源等、地域の情報発信拠点として活動するほか、シーニックバイウェイに関わる情報についてもルート内で連携し、広く情報発信を行っていきたい。	